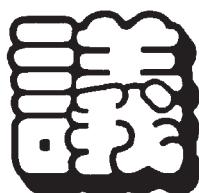


びふか



びす  
こんじちは

2014/10  
第91号



合同発表会で「熟年パワー」発揮 !!

COMカレッジ110大学美深校・七福クラブ

主な内容

第3回  
定例会

活発な「商工業担い手支援」需要に増額補正  
災害復旧にも迅速な対応 2P~3P

このように使われた25年度会計を認定へ  
決算審査特別委員会 4P~7P

町政のここが聞きたい  
一般質問に5議員 10P~14P

あなたのご意見を議会に反映 — フォト 町民との懇談会 — 15P  
函岳のめ

委員会  
レポート 16P  
包括ケア事業の現状と課題(総務住民)  
学校給食、農業・農村政策、農業振興センター運営(産業教育) 17P

私からのメッセージ 18P

# 商工業担い手支援に増額補正

## 災害にも迅速な対応



# 定例会

平成26年第3回定例会が9月8日から12日まで開催され  
条例改正1件、規約変更1件、補正予算3件、認定7件、  
承認2件、意見書4件が審議され、いずれも原案可決され  
た。

### 一般会計補正予算

質問 当初、民生費の中  
で燃料費一時補助費  
とされていたが、今回、  
ぬくもり助成事業として  
予算増額された経緯  
は。

質問 学校給食の中で  
消耗品費を学校給食セ  
ンターの備品購入に項  
目を改めた理由と消耗  
品と備品の定義は。

教育次長 財務規定の  
物品の分類は、「備品  
は基本的に1万円以上、  
そして品質や形状が変  
わらなくて償還期間長  
いもの」と有り、購入  
品目もそれに該当する  
ため。

質問 商工業担い手支  
援事業の増額になつた  
経緯とこれまでの実績

保健福祉G主幹 生活  
保護世帯についての暖  
房用燃料費購入一時金  
として見ていたが、低  
所得者に対する福祉的  
な措置として冬期間の  
生活費の一部を助成に  
変えた。

この後、商工会で新  
規開業2件、事業継承  
2件の相談案件が決定  
後に12月の補正の可能  
性が出てくる。

質問 商工業振興費の  
補助金の財源措置に地  
方債を利用した理由は。

たが、最近はソフト事  
業も過疎対策として多  
いことで事業対  
象になつた。

総務G主幹 メニュー

としては過疎債の中の  
ソフト事業の部分。  
以前はハード事業だ  
けが過疎債の対象だっ

原案可決〔全員賛成〕

〔質問者 齊藤、南、  
諸岡、藤守、岩崎、林、  
藤原議員〕



担い手支援を受けて新規開業



# 第3回

## 一般会計 補正予算

補正前の額

47億8861万円

補正額

5285万円

補正後の額

48億4147万円

(主な補正内容)

商 工 費(担い手支援、プレミアム商品券等) .....	1840万円
農林産業費(新規就農者補助等) .....	825万円
教 育 費(教員住宅設計委託等) .....	651万円
災害復旧費 .....	1370万円
民 生 費(ぬくもり助成) .....	453万円

## 介護保険補正予算

介護保険負担金の確定による返還金処理の  
補正

増により美深町町有林野管理条例の一部を改  
正するもの。



大切にしたい町有林（写真はイメージ）

## 条例一部改正

私有林の寄付受諾を  
受け、町有林野の面積

## 原案可決〔全員賛成〕

機械破損による修繕  
費の追加補正

## 水道会計補正予算

原案可決〔全員賛成〕  
を共同処理する一部事務組合に新規加入があつたため、北海道市町村退職手当組合規約の一部を変更するもの。

## 原案可決〔全員賛成〕

原案可決〔全員賛成〕  
退職手当の支給事務

## 規約改正

# 第3回臨時会

# 豪雨災害復旧に

平成26年8月19日（火）

## 一般会計 補正予算

補正前の額

47億4311万円

補正額

4550万円

補正後の額

47億8861万円

(主な補正内容)

(補正額)

災害復旧費（公共土木施設） .....	4223万円
災害復旧費（厚生労働施設） .....	250万円

原案可決〔全員賛成〕

簡易水道事業特別会計補正予算 災害復旧費 25万円 原案可決〔全員賛成〕

下水道事業特別会計補正予算 災害復旧費 42万円 原案可決〔全員賛成〕

《一般会計のなかみ》

町民1人あたり  
このように使われました。

平成26年3月31日現在 人口4,732人

一般会計総額  
49億115万円  
町民1人当たり  
約103万円

## 第1章

自然環境と調和する  
安全・安心なまち「美深」



齊藤決算審査特別委員長

# 決算委員会

質問 水道施設の老朽化による施設整備は。  
水場は昭和41年・恩根内浄水場は昭和60年に建設され老朽化は進んでおり、菊丘は平成27(28)年で耐震化工事を、恩根内は、計画的に修繕を行っている。

管理G副主幹 不明流  
入水は5年前から毎年  
マンホール100箇所、  
管路延長5km程の調査。  
国土交通省事業で不明  
水の調査メニューがある  
ので道と協議し要望する。

料金の改正は上下水道経営審議会で審議するが、見直しの予定は無く今後の情勢しだい。

生活環境G副主幹 町  
質問 有害鳥獣の捕獲後  
の処理方法は。

農業振興センター所長  
地元のハルユタカ、  
牛肉、ハーブを活用し

質問 プレミアム商品券はここ数年、毎年の事業になつてているが、効果は。

## 水道の整備

質問 下水道の不明流入水調査の進捗状況及び使用料金改正の考えは。

管理G副主幹 応急的にウルベシ川からポンプアップで対応した。

取水口のスクリーンが一時的に土砂等で詰まつた可能性があり、原因を検証して改善したい。

生活環境対策の充実  
質問 有害鳥獣の捕獲後  
の処理方法は。

商業振興  
質問 プレミアム商品券はここ数年、毎年の事業になつてているが、効果は。

第2章 資源をいかす  
活力に満ちたまち「美深」

## 振興センターの活用

質問 地場産品を利用した6次産業化への農業振興センターの関わりと進展状況、冷凍食品の研究は。

質問 私有林は基本的に所有者の管理だが、町も森林支援には力を入れており、森林組合と協議しながら必要な整備計画は立てている。

生活環境G副主幹 ごみの減量化は、まず水分を抜くことが大切。

## 公共交通の充実

質問 デマンドバス時刻表の改正と日曜日の

施設G主幹 七線道路は、交付金事業で改良を計画している。

## 森林振興

質問 路網整備が不十分で、有効に活用できない民有林があるが。

質問 水道施設の老朽化による施設整備は。

民間に不快感を与えない時間帯に埋め立て処分している。

企画係長 J.R時刻表との関連もある。日曜運行については今後協議していきたい。

ごみ処理体制の充実  
質問 炭化ごみの減量化のため、どのような協議をしているのか。

公共交通の充実  
質問 岩化ごみの減量化のため、どのような協議をしているのか。

交通安全対策の推進  
質問 七線道路は歩道を走る自転車の事故が非常に多いが対策は。

運行は。



今後どうなる？埋立て処分場



**質問** 山村留学制度の成果および校舎、親子宿舎の方向性は。

**教育G主幹** 平成3年から25年までに290名を受入れている。基本的には存続の方

**教育G主幹** 指定管理者と協議中。

### 第3章 次代を創る人を育てるまち「美深」

#### 山村留学

**質問** パークゴルフ場造成後のトイレ水飲み場の改善は。

#### パークゴルフ場

26年はモデル地区を設定し、人材派遣会社を活用した人材確保にあたっている。いと安定供給は難しい。

**総務課長** 誘致のことだけで動く体制は取らないが、きっかけを逃さないよう対応できる準備だけはしていく。

**教育G主幹** 中合わせて17名、うち町内14名。青年の家でひまわり会の研修会等を実施している。

**教育次長** 子供たちに美深の歴史を伝える施設であり、学芸員などを



企画G主幹 4月の消費税の中、町内の消費が確保された効果は大きく、スタンプラリー導入など、各商店の取り組みもあり成果が出てきている。

**質問** 観光発信のブログはなぜ閉鎖したのか。再開はしないのか。

#### 商工観光係長 管理会社の都合で閉鎖となり、新たな方法を考えなければならぬが、どの方法が良いかも含め検討したい。

**教育長** 耐震化に向けて、地域を含め諸条件が整うなら協議も必要。

#### 観光振興

住宅等も継続して整備している。

#### 郷土博物館

**質問** 郷土博物館と遊学館の入館者数に対する評価と専門職員の配置の必要性は。

**質問** 郷土博物館と遊学館の入館者数に対する評価と専門職員の配置の必要性は。

**質問** 教育文化事業を経済評価された根拠は。

の専門職もあるが、現状の職員体制で努力する。



トロッコを楽しむ山村留学親子



## 第4章

### 健康で明るく 暮らせるまち「美深」

#### 地域医療の推進

や医療費の抑制の目的もある。

**質問** 福祉・医療の充実と在宅介護を進めるには、美深厚生病院の支援と協力が不可欠だが、現状は。

**保健福祉G主幹** 在宅介護には、訪問看護師2名、支援の内容は、

介護保険サービスとしてケアマネージャーと利用者との相談で、地域包括センターとも連携をとつて進めている。医療機関との連携を今後も強化していく。

**質問** 医療費通知の仕組み、医療費のデータはどうのように活用されているのか。

**生活環境G主幹** 医療費の適正な使われ方を目的に本人確認することで、不正請求の防止

**質問** 厚生病院運営へ毎年多額の支援がされているが、町民に支持され信頼される医療機関への努力と医療の充実が求められている。今後の対応は。

**町長** 非常に難しい課題であるが、厚生連との協議で努力しており、財源も国へ訴え交付税措置などで確保している。

**医師** 医師が2名体制になって改善の兆しある。

**質問** 高齢者の見守りの仕組みと、民生委員の役割や訪問頻度は。

心ホットカプセル事業に伴い設置や更新で訪問活動を実施し、その頻度は、それぞれの民生委員に任せている。

**総務課長** 買い物支援事業でも、安否確認を防災端末で実施しているが、不在時等の対応が課題。

町としては福祉員と登録し、月1万円を報酬としている。

**保健福祉G副主幹** 民生委員は国の仕組みで無報酬。

う町独自のシステムづくりはできないか。

## 第5章

### みんなでつくる 心かようまち「美深」

#### 地域福祉の充実

**質問** 民生委員の活動費の現状と、実活動に対する報酬として支払

**町長** 民生委員制度自体に課題がある。

民生委員は重要なものなのでシステムづくりの気運を期待したい。

**男女共同参画** の推進は。

**質問** 町の女性の活動の姿勢が足りなく思う。より積極的に対応したい。

**教育次長** 教育委員会では、地道に普及と啓発を図り意識改革を勧めており、職場・地域活動でも女性が活躍している。

**質問** 女性を表に出す雰囲気づくりや男性の後押しを望むが、美深町は女性の共同参画を避けているのか。

役場内では結婚する女性自らも参画してと退職してしまう。

**教育次長** 教育委員会では、地道に普及と啓発を図り意識改革を勧めており、職場・地域活動でも女性が活躍している。

役職の女性登用も進めたい。



地域医療を担う美深厚生病院

## 《一般会計のなかみ》

**町民1人あたり  
このように使われました。**

平成26年3月31日現在 人口4,732人



## 人材育成事業

**質問** 每年同じ評価では努力が足りないのでないか。  
ツアーリー的な企画やネットワークづくりなど目標を変えてみてはどうか。

**収納係長** 加入により徴収率は良くなっていますが、滞納繰越者の人数が大幅に減少した。  
職員派遣は平成27年度を予定している。

はいつになるのか。

**企画係長** 一般公募での参加者が現れないため、条件の緩和、参加者の対象を拡大して、充実したものにしたい。

## 町職員研修

**質問** どのような効果が上がっているのか。

**総務係長** 研修参加職員を講師として還元している。

即効性の効果が薄いものもあるが、確実に職員の資質向上につながっている。

**質問** 整理機構へ加入の効果は。  
機構への職員の出向



「美深の顔」交通ターミナル

## 財産に関する調書

**質問** タブレットの庁舎内での利活用状況、また、ペーパーレス化は進んでいるのか。

## 効率的な行政運営

**情報文書係長** タブレットは管理職に配布。資料のペーパーレス化をしているが、これまでの仕事の仕方もあり、状況を見て進めた。



配布されたタブレット

## 総括質疑

**質問** 老朽化の認識にあり協議検討していきたい。

**質問** アウル、振興公社の営業改善の指導は。

**質問** 北電に支払う美深町総体の電気料金と、値上げに伴う対応として、北電以外から電気を買う検討や自賄いなどの対策は。

**総務G主幹** 全会計で電気料金総額は、4124万5千円。

**総務課長** 両公社には改善を求めており、専門業者による改善の指導など継続的に指導していただきたい。

**総務課長** 電気の購入先は、比較検討しながら、より有利な方向に向かう状況判断と検討を行う。

**町長** 自賄いは研究の段階にもなく、将来の課題。

**質問** トロッコの枕木等が老朽化している。線路等は町の財産であり、観光資源として保全する考えは。

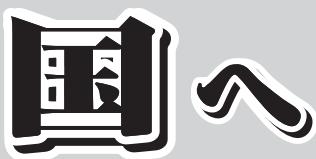
**総務課長** NPO法人で対応すべきだが、老

**質問** 影響を受けることはそうないとの判断にあり、メリットとデメリットにお互い気を使いこれまでの活動をしつかり繋げていく。

**（質問者）** 山本、中野、藤守、藤原、諸岡、小口、岩崎、南委員

# ・手話言語法の制定

# ・地方財政の拡充



総務住民  
産業教育 各常任委員会で審査

手話とは、日本語を音声ではなく、手指や身体の動き、表情を使いつつ言語である。害者にとって、日常生活「音声が聞こえない」「音声で話すことができない」など、聴覚障害者にとって、日常生活

## 「手話言語法（仮称）」の制定を求める

活や社会生活を営む上で、手話は大切な情報獲得とコミュニケーションの手段である。しかししながら、我が国で手話は日本語の習得を妨げるものと誤解され、多くの学校で手話を使うことが制限されてきた長い歴史がある。我が国は、平成19年9月にこの条約に署名したもの、権利条約批准に当たり必要な国内法の整備が必要なため、平成23年7月、障害者基本法を改正し、手話が言語であること

声言語をいう」と定義され、手話が言語に含まれることが明記された。我が国は、平成19年9月にこの条約に署名したもの、権利条約批准に当たり必要な国内法の整備が必要なため、平成23年7月、障害者基本法を改正し、手話が言語であること



を獲得する」「手話で学ぶ」などの権利を保障するためには、専門法である「手話言語法」の制定が必要である。よって、国においては、「手話言語法（仮称）」を制定するよう強く求める。

提出者

岩崎 泰好

藤原 南和博  
芳幸 孝子

国に対し、地方自治の本旨に基づき、地方財政の拡充を図るよう、下記の事項について強く要望する。

2、地方交付税については「三位一体改革」した額を元に戻し、法定率を引き上げて

3、地方自治体職員の採用をはかるものであり、撤回をすること。

4、老朽化した公共施設は、耐震化、建て替えを行えるように財源を保障すること。



## 地方財政の拡充を求める

記

地方の財源格差是正と財源保障の機能を果たすように拡充すること。

1、憲法に基づき住民の福祉の増進」（地方自治法第1条の2）を図る役割を發揮できるよう、十分な地方財源を保障すること。

3、「行革努力」を反映する交付税の算定は、地方交付税法の目的、趣旨に違反し、

地方自治体へ不当な介入をはかるものであり、撤回をすること。

4、「緊急防災・減災事業」は、不要不急の公共事業ではなく、住民の安全・安心を確保する施策に活用すること。

用を妨げるような介入を行なわないこと。

提出者  
賛成者

岩崎 泰好  
藤原 寿一  
芳幸 和博

・地方に配慮した高校配置

・林業振興と地球環境維持

# 意見書を

広大な北海道の実情にそぐわない高校配置計画を抜本的に見直し、学級定数の見直しを行うなど、地域に高校を存続させていくべきである。

## 『新たな高校教育に関する指針』の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める

記  
1、道教委が平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」は、広大な北海道の実情にそぐわらず、地域の教育や文化だけでなく経済や産業など地域の衰退につながることから、抜本的な見直しを行うこと。

2、「公立高校配置計画」については、子供・保護者・地元など道民の切実な意見に真摯に耳を傾け一方的な施策は行わないこと。

3、教育の機会均等と子ども学習権を保障するため「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤回するとともに、もと

北海道は、平成21年度に国が創設した「森林整備加速化・林業再生基金」を活用し、間伐や路網の整備、高性能林業機械の導入、さらには、木材加工流通施設・木造公共施設の整備、木質バイオマス

度に国が創設した「森林整備加速化・林業再生基金」の継続またはこれに変わった恒久的な支援制度を創設するなど、林野関連施策の充実・強化を図ること。

國においては、次の事項を実現するよう強く要望する。

## 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める

のエネルギー利用施設の整備など、森林資源の循環利用の実現に向け、川上から川下に至る地域のさまざまな取り組みを支援している。この結果、トドマツやカラマツなど、人工林を主体とする森林の整備や、森林の整備に伴って産出される木材の有効利用が進み、北海道の木材自給率は全国の2倍以上の約6割に達している。

本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速させ、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速させ、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

## 記

1、森林の整備から木材の利用促進といった地域の多様な取り組みを支援するため、「森林整備加速化・林業再生基金」の継続またはこれに変わった恒久的な支援制度を創設するなど、林野関連施策の充実・強化を図ること。

ルールである森林經營による森林吸収量の算入上限値3・5%分を最大確保するため、「地球温暖化対策のための税」の使途に、森林吸収源対策を追加するなどし、森林整備の推進等のための安定的な財源を確保すること。

2、国際的な気候変動対策の枠組みの合意と。  
提出者 諸岡 小口 齊藤 中野 勇治 和信 勇進  
賛成者 諸岡 小口 齊藤 中野 勇治 和信 勇進



# 一般質問

- 不安解消に向けた防災情報の伝え方の現状と課題、その解決策は
- 河川管理の現状と緊急復旧作業の早期実施は
- 文化財や郷土博物館資料の保存管理状況と、活用のために必要な専門員の配置は



岩崎泰好議員

問

## 答 防災情報の出し方検討

質問 ①防災情報の住民への周知の手法は、どのような形と手順で行われているのか。

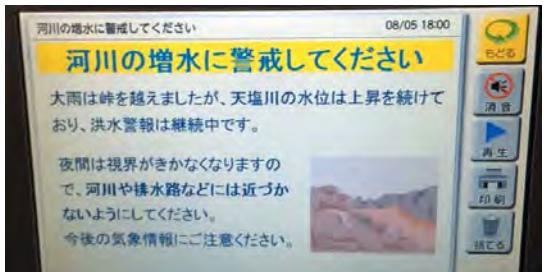
②8月4・5日の集中豪雨に、不安で一夜を過ごした住民が多くたが対応は適切だったのか。

③天塩川の氾濫に備えて、避難準備勧告や避難勧告はどの時点で発令になるのか、現状とその判断は。

④自治会の防災組織との連携が重要であると思うが、どう進めてきたのか。

⑤防災情報の伝達、課題と解決策は。

町長 豪雨対応では、8月5日午前10時に災害対策本部を設置、収集した情報を今後起りうる災害を予測し、周知の内容と方法を決め対応してきた。午後8時過ぎに川西



増水警戒を出す防災端末機

問

## ウルベシ川氾濫への対応は

質問 ①美深町内を流れる河川の日常の維持管理は。



護岸が崩壊のウルベシ川

答 応急対策を要望へ

教育長 文化財専門委員会は、文化史跡3点を指定に向けての協議を昨年から4回開催中、

④文化的向上や郷土に対する認識を深めるために、専門員の配置に関して予算的処置は。

町長 ソフト面での対応は意を配して町政を進めているが、学芸員を配置するまでにはなかなか行かない。

質問 ①文化財専門委員会の開催状況と、新たに文化財指定の対象物件は。

②郷土博物館資料の充実と活用の基本的考え方と保存庫の現状は

③専門員（学芸員）の配置に民間活力の導入は。

④文化的向上や郷土に対する認識を深めるため、専門員の配置に

資料室は興味や関心をひく事業を推進。

保存は遊学館で資料の保管をし、台帳で管理しており、容量的には8割程度、さらに町民からの資料提供も受け付けている。

答 現状の人員体制で

と南地区に避難準備勧告を発令し自治会の協力で高齢者の住宅へ連絡や、避難場所の対応など進め、浸水の恐れの低い地域には、防災端末で天塩川に近づかないように注意啓発を行った。

町長 維持管理は、日常直営により隨時実施、また、道路河川愛護組合の協力も。洪水や氾濫などの対応は、常に気象情報などデータを監視し、パトロール強化で対応。

ウルベシ川の対策は、北海道の管理であるが国営事業の改修の経過もあり、町内各所に同じような箇所があり、対応など早急に要望したい。

問

## 博物館の充実に学芸員を



小口英治議員

# 一般質問

- 1 ふるさと納税制度の取組みについて
- 2 びふか温泉・双子座館の運営について

問

美深を売り込む姿勢に

かけるのでは

答

更なる情報発信に力点を置く



**質問** ふるさと納税制度は、すでに6年が経過した中、寄付者の都道府県別者の特徴と共に合わせて特産品を贈呈しているが内容、町の情報発信は充分か、また、これらについて地場産業に結びつく特産品の開発育成は出来ないか。

**町長** 寄付者の内訳は道内56件、東京都49件、大阪府25件等が主、当初寄付のお礼に品物を贈ることに疑問視する声もあったが昨今では特産品を競うようなテレビ番組等があり考え方も変わってきている。

当町の場合メロンなど3000円相当の品物を贈呈、情報発信の部分は8割の方がインターネットなど見て贈つ

**質問** 産業化はロット等があり、難しい課題。

## 温泉・双子座館の取組みは

**答** 課題を見据え努力する

**質問** 以前にも双子座館の陳列方法、社員教育等の質問をしたが、入り口の野外・屋内休

憩所など、手狭で、通行に支障があるアウル市場（屋外販売所）も当初は農家の方なり、

**質問** 管内の観光入込数は剣淵、名寄ついで3番目の42万人、上川南部の美瑛町は17

**町長** 山農村の部分でいかに特徴を出すか、トロッコもあるのでいろいろ考えていく。

**町長** 養護学校、福祉会、チーズやもちの加工品等も臨時の売店としての利用があるが、もう少しという課題はある。

今年4月に道の関係研究所の道の駅アドバイザーの現地調査を受け助言も頂いているので鋭意努力している。

**町長** 料金設定は指定管理者が決め、議会と相談し条例で決めて行かなればならない。老人対策の部分も含めて具体的な値上げの段階で判断する。

**質問** 地場産業の活性化の施設の認識だが、有効に利用されていないのではないか。

**町長** わが町のようないく姿勢は持っている。工事中のバイオマスボイラーガ完成しても電力料値上げに追いつかない、更に来年度は消費税のアップも予定されている中、70歳以上の方はある種、現料金を維持する考えはない。



有効利用が望まれる「アウル市場」

9万人の中、これからは外国人の誘致も必要で「指さし会話集」やマナーに対する「ユニバーサルデザイン」等の案内手段も必要ではないか。

町は1333万円（いずれも25年度）の実態の中、寄付者の数が東京ふるさと会員数にも満たないのは、発信力が足りないのではないか。他町村だが、町営の施設を有効に利用する考え方で温泉宿泊無料なり、優待なり、チョウザメ1匹贈呈、牛肉1キロなど知恵を絞らないとますます格差がつく。

**質問** 工事中のバイオマスボイラーガ完成しても電力料値上げに追いつかない、更に来年度は消費税のアップも予定されている中、70歳以上の方はある種、現料金を維持する考えはない。

**町長** 必要性は分かるが段取りとしては、すぐ出来ないが、やっていく姿勢は持っている。

# 一般質問

- 豪雨、防災対策に抜本的改修を
- 松山湿原の魅力を引き出すために



諸 岡 勇 議員

問

## 災害から命を守る

答

### 早期に情報を周知し対策へ

質問 災害から命を守るために早急に防災対策と応急対策が必要である。

①辺渓5線11号道路、

斑渓東2号道路、天塩

川左岸道路の通行止め

復旧のめどは。

②一部に避難準備が発

令されたが、発令が午

後7時45分、早めの体

制が必要に思うが。

③家屋の流水・污水の

流れ込みなどの対策、

支援の協力方法は。

④南町等、排水溝の設

置、排水路の整備を住

民が求めているが。

⑤天塩川の堤防決壊・

氾濫等避難時には、恩

根内地区の避難所見直

しは。

⑥仁宇布川堤防決壊、

氾濫対策に、抜本的な

水路改修・堤防改修が必要ではないか。

⑦東2号道路のり面越えは新生地区に被害、抜本対策をどう考えるか、スキー場の景観づくりの影響はないか。

町長 3路線は、通行

止めで被災状況調査中、

災害査定後に来春融雪

後の復旧に努める。

避難準備情報は、降

雨、天塩川水位、今後

の天候など総合的に想

定判断した。

家屋への流水、汚水

の流れ込み対策、支援

協力などを指示し、

ポンプ稼動で内水の排

水作業を早期に行い家

屋周辺の土のう設置対

策を町職員、消防、建

設会社への依頼、開發

への要請で進めた。

南町30番地の排水口、

排水路は民地内設置は難しいが道路側の改善は



崩れ落ちた斜面

など調査を進める。恩根内地域は、当面センターペラザを第1段階、避難所で利用、段階的に安全な避難場所へ移動を考える。

辺渓9号で仁宇布川から用水に流れる道管理河川は意見集約し、協議、要望したい。

スキー場の景観づくりは、東2号と並行

する土地改良区の用水に上を図る。



是非とも活かしたい松山の自然

質問 ①北海道学術自然保護地域の松山湿原は秘境地。四季を通して登山道、頂上に咲く花々が替わり、植物工

ネルギーを感じるが、

PRを充実すべき。

②登山道の花々、興味

ある岩盤、倒木更新、珍しい樹形等あるガイ

ドブックの作成など研

究・調査は出来ないか。

③ポンプ稼動で内水の排

水作業を早期に行い家

屋周辺の土のう設置対

策を町職員、消防、建

設会社への依頼、開發

への要請で進めた。

南町30番地の排水口、

排水路は民地内設置は難しいが道路側の改善は

教育長 松山湿原は観光面と地域の歴史・郷土の魅力をどう引き出すかが課題で、堀田清氏著書「植物エネルギー」には興味・関心があり、教育の立場からPRしたい。

登山道管理、特に植物等の保護に認識を持つている。

登山道から眺める環

境の資源活用に役割を

認識している。

問

## 郷土の魅力・保護に役割

答

### 湿原登山に興味



# 一般質問

藤原芳幸議員

## 1 災害発生時の対策について



改めて注目したい  
ハザードマップ

質問 町民に天塩川を想定した洪水ハザードマップが配布されてから10年以上経過した。

この間に東日本大震災や、最近の異常気象と思われる日本各地での災害発生もあって、マップの内容に不安を感じる。防災マップは有効なものなのか。

不安払拭の説明が必要ではないか。

また住民が次の行動を起こす上で助けになる内容の災害発生時の「手引書」が必要と考えるが。

町長 洪水ハザードマップは配布後、10年が経過しているがこの間、天塩川の河道掘削や築堤改修も行われており、安全性は高まっている部分もある。

ハザードマップは洪水、火災、震災に備えた手引書の一つとして十分有効な物と考える。

次の行動を起こすための情報はハザードマップに記載されておりこれを有効活用してもらいたい。

答 十分有効なものと考える

問 洪水ハザードマップ  
10年経過したが

質問 町民に天塩川を想定した洪水ハザードマップが配布されてから10年以上経過した。

この間に東日本大震災や、最近の異常気象と思われる日本各地での災害発生もあって、マップの内容に不安を感じる。防災マップは有効なものなのか。

不安払拭の説明が必要ではないか。

また住民が次の行動を起こす上で助けになる内容の災害発生時の「手引書」が必要と考えるが。

町長 洪水ハザードマップは配布後、10年が経過しているがこの間、天塩川の河道掘削や築堤改修も行われており、安全性は高まっている部分もある。

ハザードマップは洪水、火災、震災に備えた手引書の一つとして十分有効な物と考える。

次の行動を起こすための情報はハザードマップに記載されておりこれを有効活用してもらいたい。

質問 今回発信された情報はテレビと同じ内容の天塩川の水位情報と、道路情報であったが、様々な情報を収集できる時代でもあり、心構えや準備のための細かな情報を出してもらいたい。

必要な地区、人に必要な情報量は適切だったか

町長 気象情報の基準や名称などが変更になった箇所もあり、内容の一部更新が必要と考える。更新後は配布を検討。

質問 有効なものであるならば、町への転入者に渡っているのか。

また既に配布された世帯でも無くしてしまった住民もあり、対応が必要では。



増水した天塩川  
(8月5日午後4時頃)

質問 今回発信された情報はテレビと同じ内容の天塩川の水位情報と、道路情報であったが、様々な情報を収集できる時代でもあり、心構えや準備のための細かな情報を出してもらいたい。

必要な地区、人に必要な情報量は適切だったか

町長 避難勧告や指示の重要な情報は行政側から正確に出さなければならぬが、その段階までは基本的に自主防災の考えでハザードマップを活用して日頃から準備や心構えをしてもらいたい。

必要な情報は十分行き渡った。情報端末機もしっかりと活用できたと考える。細かい情報発信は逆に混乱を招くことも考えられ、現実にはなかなか難しいことも理解してほしい。

# 一般質問

- 農作業事故の救急救命活動の現状と課題
- 農業実習生宿舎及び中国人研修生宿舎等の現状と課題
- 役場機構体制と職員教育と労働環境は



南 和 博 議員

町長 近年、農業に限らず林業や商工業や生活に機械化が進み、特殊災害における関係業者との連携が必要であると判断し、この9月より連携体制を整え、今後模擬訓練等により迅速な対応が取れるよう進めます。消防署員の地域担当制については上川北部

町長 地域特性の認識を図ることが迅速な救急救命活動につながると思うが。

質問 農作業事故が後を絶たない現状のなかで消防署と農業機械業者との連携連絡網が必要と思うが必要性について伺う。

また、消防署員にも

地域担当制を敷いて土地勘、町民とのコミュニケーションの保持、

ニケーションの保持、

活動につながると思うが。

質問 農業の担い手確保のために解決策の一つとして、農業実習生宿舎を整備したが、これまでの実績と評価及び今後の展開は。

町長 また、宿舎にもWi-Fi(相互接続性無線LAN機能)等の環境整備が必要と思うが整備の考えは。さらに施設名に相称をつけて、PRするべ

## 答 充実に向けて取り組む

質問 農業の担い手確保のために解決策の一  
つとして、農業実習生宿舎を整備したが、これまでの実績と評価及び今後の展開は。

町長 中国実習生が集団で市街地に集うことに町民からも苦情があることから、Wi-Fiの環境整備が必要と思うが。

質問 Wi-Fiの整備についての実習生を受け入れている。

町長 旧美林寮については、11名実習生がおり運営は農協で対応、整備を農協と協議したい。



Wi-Fiの整備が求められる実習生宿舎

消防事務組合に加盟している点、勤務の特殊性から配置できる状況にはないが、各地域を把握する工夫、研修等どのようなことができるとか検討したい。



農作業事故では連携が必要(写真はイメージ)

## 答 連携体制を整える

### 整備を

## 答 研修制度でスキルアップを

### 消防署との連携連絡体制の

### 職員減で職務に無理はないか

質問 行政改革で職員採用を抑制しているなか労働環境、健康管理に影響があるように見受けられるが、職員体制、大課制に課題があるのではないか。

町長 職員はスキルアップのために自主研修もあるのではないか。

質問 積極的に取り組み徐々に成果が上がっている。臨時職員増が良いか構築を慎重に考えたい。外へ出て鍛えられるのが一番の研修だと職員には言っている。

# 町民の皆様との懇談会を開きました

平成26年10月16日



朝日新聞の2面記事の見出しに、「地方創生」がんばれ田舎派も」何のことかと読んでみると、永田町、霞ヶ関の政治家と官僚は都会派と、田舎派に分けられるとのこと。安倍総理が所信表明演説で「若者にとって魅力ある町づくり、人づくり、仕事づくりを進めます」と強調。

永田町では都会派の勢いに田舎派が押されぎみ、ちなみに地方創生を仕切る本部長が田舎派議員であり頑張りを見たいとの記事。

ここにきて急に地方見直しとは：ともあれ、わが町にも地域活性化のための事業に予算がついた。

若者に地方定住を促す地域おこし協力隊、出産・婚活支援の助成金、都会から地方への移住支援、出生率向上のた



めの子育て支援、地域の実情に応じた産業の育成で企業を取り組むことが基本とあるが、地方は少子高齢化、産業の衰退、人口の流失、と厳しい現状にある。

地域自ら立ちあがることが厳しいからこそ国力を借りたいと願っているのではない。何年か前の市町村合併が頭をよぎった。

今、本町は児童センターに100人からの子供が元気に通園している。

C O Mカレッジの学生は文化会館を拠点に活躍そのエネルギーが地域の活力と捉え生き延びていきたい。

そこに住んでいる人々が元気で、はじめて外からの人々も集まつてくるのではないか。今、地域おこし協力隊員がまちなかで活動しているが、皆さんが美深町の住民になってくれるよう住民も積極的に関わるならいいなと思う、田舎派としてのつぶやき。

## ◀ 調査内容

1、医療と介護、保健  
・福祉の連携システムの現状と課題  
美深厚生病院、美深町社会福祉協議会、美深町地域福祉会、美深町地区包括支援センター、グループホームびふか、緑の大地緑生苑など関係機関が連携して地域包括事業を実施している。

2、介護予防事業の現状と課題  
在宅サービスは美深

## ◀ 調査のまとめ

厚生病院、同地域訪問看護ステーションといったところよ、美深町社会福祉協議会、美深町特別養護老人ホーム、同デイサービスセンター、ふれあい、馬場商店、マイライフ、美深町地域包括支援センターが緑の大地緑生苑が実施。地域密着型サービスは美深厚生病院（デイサービスセンターやすらぎ、グループホームびふか、緑の大地緑生苑）が実施。町の基幹病院として赤字補填、運営費助成を手厚く支援している現状であり、行政からも強く協力体制について要望していくべきである。

また、民間診療機関の協力体制も今一度精査し、町民の安心安全の確保のために何が必要か協議すべきである。今回の介護保険制度の改正により訪問型、通所型サービス（要支援1・2）・生活支援サービス・介護予防支援サービスは、平成30年3月までに地域自治体へ運営を移行となる。

近年の統計で美深町から280人ほどが転出し、うち10%が65歳

人口減はもとより、介護保険給付費等の財政負担につながる懸念事態で、まちづくり

以上であり、今後、団塊世代の子弟がこれまで以上に町外に就職している時代背景から考えると、団塊世代の介護認定者の住所地特例（制度改正でサービス付き高齢者住宅も対象となる）が益々増える可能性が高い。

このことはわが町の観点から早急な対策が必要である。



## ◀ 調査内容

## ◀ 調査のまとめ

ため、財政面や地域包括支援センター等の人員面、さらには施設整備等において対応策が急務である。

国の指針としては地域ボランティア等の活用でこれらサービスを運営することになって

いるが自営業者、農業者、地域住民の高齢化ではマンパワーに限界がある。

また、施設居住系サービスでは、恒常的に50名程が入居待機しており、今後、要介護者が増加する推計を見れば民間活力を活用してサービス付高齢者住宅の建設増設支援策を実施すべきである。

さらに介護福祉に係る従事者の職務環境の改善を図るとともに在宅介護家族の精神的肉体的負担の軽減と支援策の拡充に取り組むべきである。

また、保健推進員の包括ケアシステムの一員としての明確な位置づけも必要で、施設整備等々あらゆる対応策をミックスした多様性のあるシステムが必要である。

# 委員会

## 学校給食の進捗状況 新たな農業・農村政策 農業振興センターの 事業計画・運営状況

調査日 平成26年8月19日

産業教育常任委員会



建設中の給食センター

- ◀ 調査内容
- 1、学校給食
- 準備委員会審議事項
- 地場産品・食材調達活用について
- 広報活動の状況
- アレルギー対策について

給食運営委員会を設置し、給食開始までのスケジュールの中で、準備委員会の議論した趣旨、規則等に盛り込み反映させるとした。給食会計は公会計で行う予定。

味噌については趣味範囲の製造であり、給食納入とできないか検討したが、食材の証明書の添付がなければ使用できない。

高等養護学校では、地元産品が使用されているので参考にすべきである。

- ◀ 調査内容
- 2、新たな農業政策について
- 経営所得安定対策の見直し
- 日本型直接払い制度について

アレルギー対策は、基本的に医師の診断が必要で緊急対応が必要な児童が1名いる。学校、保護者と連絡を密にして対応する。委託業務は配達のみで、後は直営で行う。



農業振興センターにて

- ◀ 調査のまとめ
- 学校給食準備委員会は、中西忠幸委員長ほか11名の委員で構成。8月末までに9回催し解散となる。
- 平成27年4月に学校

美深牛や地元食材を使用したいが、納入価格がネックとなる。地場産品は種類も少なく、冬期間は道内産

専門業者と町内業者と比較では、一食当たり20～30円のちがいがある。

- ◀ 調査のまとめ
- 3、農業振興センター
- 事業計画
- 運営状況

米の作付けがないのに相当量の収穫があった場合の試算であり、その通りにはならない。イエスクリーン米など、冬期間は道内産

販売価格を上げていく努力が必要となる。美深町の加工用米の面積は、220ヘクタールの内、17ヘクタールで年々増加している。国は情報を流すだけで、生産者自身の対応に係る部分は農協が中心となり調整作業が行われると思うが、農協 자체も厳しい政策と認識している。

日本型直接払い制度創設で老年者の多い農集団、自治会では難題はあるものの、将来的には水路・農道などの維持管理まで団体対応の対象事業であり、土地面積×単価で限度額が決まっているが、敷島、吉野、斑渓、川西、西紋各地区の取り組みに期待したい。

主な事業のひとつが土壤診断であり、平成25年の水田診断件数がより、平成24年と比べると多くなっている。魚肉加工の内容で、チヨウザメの燻製での利用がある。生産者からの要望は出でていないが、加工産物の発掘に努力することを要望する。

### ◀ 調査のまとめ



# 私たちのメッセージ



## 川面から見える美深町

辻 亮多  
(新生自治会)

高く澄んだでつかい空と、力強く流れる大河。その狭間に小さなカヌー。

この日本じゃないような風景の中で「川のガイド」という暮らしを始めて、早くも1シーズンが過ぎようとしています。

日本全国から美深町

にやってきて、この地の自然の豊かさを、雄大さ、厳しさをカヌーを通して感じたお客様は、皆感動して帰つて行きます。

この町が日本中の人们に愛される事を移住者ながらに嬉しく思います。

お客様の喜びの声

や彼らが撮った写真を通して、この土地の豊かさや、秘められた力を感じる日々です。

「旅行から帰り、忙しく働く日常の中で、ふっと天塩川の川面を思い出だすと、心が落ち着き、また頑張れます。」とお便りをくれたお客様。

この土地はもう数少ない日本人の心の「ふるさと」になるのかも知れません。

これからも、町の皆さんにアドバイスを頂きながら、楽しんで暮らし、この仕事を続けていきたいなと思ってます。

## 新規就農をめざします

牛 尾 千 里  
(農業実習生)

私は去年4月に、農業実習生として受け入れていただき、たどりま2年目の実習をさせていただいています。

というのが第一印象でした。  
最初にお世話になつた、川西の十川農園さん。今年もお世話になつてある2件目の中村農園さん。

そんな支えがあり、美深へ移住・就農を考えました。

勉強して経験を積み、将来は農家カフェや農家庭宿など出来ればと、夢を描いています。

いろいろな壁にぶつかり、立ち止まり、悩み、また歩き出すといふ人生のなかで、大き



## 「伝わる」 議会広報へ

芳野政明氏による議会広報研修会が8月21・22日、札幌で開かれました。

「伝える」から「伝わる」議会広報へ、読者の立場に立った編集読みたくなる「議会だけ」など広報クリニックを中心解説を受ける。

議会の活動内容が、住民に伝わるまでが議会活動であり、自治体議会の向上に広報誌が果たす役割が大きいことを再認識した。